

ほすぴたる

No.694

平成27年11月20日
福岡県病院協会

C O N T E N T S

新人物	今ふたたびのごあいさつ	社会保険仲原病院 院長	岡嶋泰一郎	①
病院管理	九州ホスピタルショウ2015、 開催報告	九州ホスピタルショウワーキング委員会 委員長 医療法人西福岡病院 理事長	安藤 文英	②
	医療安全と医療事故調査制度	済生会福岡総合病院 副院長	関口 直孝	④
	医療事故調査制度の事故調査委員会 について ～福岡方式の初期対応を経験して～	国立病院機構福岡東医療センター 副院長	江崎 卓弘	⑤
	ハイブリッド放射線治療	医療法人原三信病院 診療技術部放射線治療技術部門 顧問 診療部放射線科 顧問	廣瀬 哲雄 寺嶋 廣美	⑦
	検査部の立場から患者サービスを考える	済生会福岡総合病院 生理機能検査室長	宇治川好枝	⑨
	受付で学んだこと	済生会福岡総合病院 放射線科受付	酒見 牧男	⑪
看護の窓	カタカナ語の急増と安易な活用に懸念	医療法人西福岡病院 看護部長	馬渡加夜子	⑬
	医療安全活動を通じた職場づくり	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 医療安全専従師長	西 洋子	⑭
各種委員会 の紹介 No.4	栄養管理委員会紹介	栄養管理委員会 委員長 九州大学病院 栄養管理室長	山口 貞子	⑰
Essay	一枚の油絵	医療法人西福岡病院 耳鼻咽喉科	森園 哲夫	⑲
Letter	チグリス会のことも	国立病院機構九州医療センター 名誉院長 学校法人原学園看護専門学校 学校長	朔 元則	⑳

■福精協の広場	『感情を受け止める』	医療法人 杏和会 平尾台病院 病棟主任 看護師	二神 春人	㉕
■福岡県私設病院協会	平成27年10月福岡県私設病院協会の動き			㉖
■福岡県病院協会だより				㉘
■編集後記			岡嶋泰一郎	㉙

Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。
ネットワークを利用した読影サービスで、
あなたをバックアップします。



Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～
医療に地域格差があってはならない
そう私たちは考えます。

ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～
放射線科の先生向けに、遠隔
読影システムから課金に至るまで
統合的にサービスをご提供します。

株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1
九電工福岡支店ビル6階
フリーダイヤル:0120-270614 FAX:092-533-8867
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

医院開業のご相談 お待ちしております

相談は無料!!

(福岡地区・北九州地区・南九州地区・中四国地区)

事業計画書作成／開業資金／土地（賃貸ビル・建て貸し含む）／診療
圏調査／設計／施工／医療器械／リース／調剤薬局／スタッフ／その
他開業に必要な什器物品／医療専門会計士

地区担当者と各分野のメディカル専門担当者が対応致します。信頼できるパートナーです。

ドクターの皆様へ! 団体所得補償保険制度(休業補償保険) 一団体割引

- 1 ワイドにガード** 国内、海外、業務中、業務外での病気・ケガによる休業、天災、自宅療養をワイドに補償! 24時間いつでもサポート!!
- 2 長期にわたり安心** 1年間は「基本コース」で補償、長期の場合も「新ロングコース」で最長70歳まで。
(就業障害開始時の年齢が65～69歳の方は最長5年間補償)
- 3 手続き簡単** 加入時の医師の診断不要。いつでも加入できます。
- 4 自動継続** 更新時には、加入内容等、特にお申し出がなければ自動的に継続がされます。
- 5 団体割引** 加入団体によって最大51%割引。

★お問い合わせ先／M.S メディカル(株)
URL:<http://www.msmedical.co.jp>
E-mail:msmedical@chime.ocn.ne.jp

〒810-0044 福岡市中央区六本松3-1-58 リード桜坂1F
Tel 092-722-0498 Fax 092-722-0525

社会保険仲原病院
院長

岡嶋 泰一郎



今ふたたびのごあいさつ

以前、国立病院機構小倉医療センター院長就任時に、一度ご挨拶をさせていただきましたが、今回再び新人物に登場させていただくことになりました。“新人物”と呼ばれるよりも“旧人物”と呼ばれる方が適切かとも思いますが、本誌の編集委員長も務めております関係上、慣例を破ることなく、すなおに「新人物」としてごあいさつさせていただきます。

本年8月1日より、社会保険仲原病院の院長として着任いたしました。仲原病院は、県病院協会の理事として、協会運営にご協力いただいております吉村恭幸先生が会長を務めておられる、福岡県社会医療保険協会に所属する病院です。粕屋郡志免町にあります。福岡空港、吉塚駅にも近く、福岡市内に在るような感覚です。糟屋郡という地名を聞いたとき、国立病院時代の盟友、上野先生が院長を務めている東医療センターが近くなって頼もしく感じて赴任したのですが、糟屋郡の広さを認識しておらず、東医療センターがかくも遙か遠くにあるとは想像していませんでした。糟屋郡は全国でも珍しい人口増加地域であり、今後の医療需要が増すことが示唆されています。当院の周囲もマンションがたくさん新築されており、人口増加地域であることが実感されます。当院は、総病床数は135床の急性期病院で、内科・外科・消化器科・整形外科・リハビリテーション科・眼科・放射線科などの診療を行っています。内科では、一般疾患に加え、消化器疾患（消化管、肝・膵・胆）、糖尿病、内分泌疾患、感染症、血液疾患を含むがんなどの疾患を、専門医を揃えて

積極的に診療しています。また、8月からは九大第二内科のご好意で、腎臓病を専門とする医師が常勤医として着任し、内科の診療の幅が広がりました。10月1日からは腎センターも新築オープンし、透析患者さんの受け入れも可能となりました。当院での透析治療を望まれる患者さんがおられましたらぜひご紹介いただけますと幸いです。外科は消化器を始めとするがんの手術や化学療法を中心とした診療を行っています。当院は地理的に九州大学病院と近く、その利便性を活かした密な連携の下に、抗がん剤治療を様々ながんの患者さんに行っています。整形外科では、周辺の登録医の先生方との連携で、多くの患者さんの手術を行い、また、リハビリ治療も提供しております。

その他、九州大学病院や福岡大学病院より派遣された医師による呼吸器外来、循環器外来、乳腺外来（土曜日）などの専門外来も設けています。

ご承知のように、医療界の現状はまさに激動期と言える時代に突入しました。先が見えず、動きようがないようにも感じられます。地域の状況を見据え、ニーズにあった医療を展開していくことが、選ばれる病院になる早道とは思いますが、その道のりは平坦ではありません。性懲りもなく、急性期病院の院長という“火中の栗”を再び拾ってしまったことを悔やむだけではなく、ますます地域で信頼される仲原病院を築き上げる一助となることができればと思っています。皆様の温かいご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

九州ホスピタルショウ2015、開催報告

九州ホスピタルショウワーキング委員会 委員長
医療法人 西福岡病院 理事長

安藤 文英

第11回目の開催となる九州ホスピタルショウを、10月21日（水）・22日（木）の2日間、福岡国際会議場において開催いたしました。2012年（平成24年）から開催の“ふくおか福祉機器展”を今回も併設し、過去最大となる出展62社、展示面積約646㎡での開催となりました。ご来場者は目標には少し届かず2日間で2,920名でしたが、盛況裡に終えることができました。

主催の一般社団法人日本経営協会は1974年（昭和49年）から、一般社団法人日本病院会との共催にて「国際モダンホスピタルショウ」を「病院をはじめ、保健・福祉分野の質の向上・充実に役立つ機器、システム、サービスなどを幅広く展示し、健康福祉社会の発展に寄与すること」を目的として、東京ビッグサイトにおいて開催し、本年度で42回を数えています。

九州ホスピタルショウも九州地区の医療現場で働く皆様に、最新の医療機器、情報を提供したいという主旨で、2005年（平成17年）より開催いたしております。

これも偏に福岡県病院協会をはじめ、九州厚生局などご後援をいただきました関係諸官庁、諸団体のご助力と医業産業に携わること出展各社を中心とした関係各位のご支援の賜物と、心より厚く御礼申し上げます。

今回のショウでは、「九州発 地域包括ケアの明るい未来へ」をテーマに、福岡県の商工部新産業振興課とタイアップして「主催者企画：医療・介護・福祉ロボット展示コーナー」を初

めての試みとしてロビーに設置し、多くの感心を集めていました。

また、多彩なカンファレンスを展開し、初日の「開催記念講演会」では、元気で長生き研究所 所長、日本笑い学会 副会長・医師の昇幹夫先生（九州大学医学部昭和46年御卒業）を招請し、「あなたの笑顔、なにより薬！」をテーマにご講演いただきました。昇先生には笑いの医学的効用、前向きな楽しい生き方、長生きの秘訣等々軽妙にして洒落、笑いの絶えない非常に面白いお話しいただきました。その他、「病院マネジメントセミナー」「病院IT化セミナー」「看護セッションセミナー」「医業経営セミナー」ならびに福岡県のエネルギー政策室とのタイアップで「コージェネレーション導入セミナー」など時代に沿ったテーマ構成で充実した内容の開催となりました。これらの講演、セミナーならびに展示実演が病院の経営革新、業務改革は勿論のこと、九州医療界の発展に少しでも寄与できたのではないかと確信しております。

尚小生、本年4月より、今泉暢登志、安井喬雄、両委員長の後任として、3人目のワーキング委員会委員長を拝命いたしております。両氏に比せばいかにも軽輩の謗りを免れませんが、任期中は精一杯お役目を果たしたいと存じております。よろしくご支援ご指導の程を、この場をお借りしてお願い申し上げます。来年、さらに多くの皆様方のご来場を期しながら稿を終えます。

【人気・感心の高かった展示ブース】

- ・ NECグループ（NEC・BCC・南日本情報処理センター）：電子カルテ
- ・ 富士通：電子カルテ
- ・ アイホン：ナースコールシステム
- ・ コクヨマーケティング：文具類、多目的カート
- ・ ニューガイアエナジー：マイクロバブルジェット（微細泡発生装置）

【人気のあった講演・セミナー：ベスト5】

- ① 病院マネジメントセミナー：マネジメント講演Ⅰ（参加・聴講：135名）
「医療業界におけるマイナンバーの方向と今後の実務対応」
- ② 病院ITセミナー：導入構築事例発表Ⅰ（参加・聴講：130名）
「福岡県医師会診療情報ネットワーク“とびうめネット”構築と活用の実際」
- ③ 看護セッションセミナー：基調講演（参

加・聴講：130名）

「看護管理者のコンピテンシー・モデル」

- ④ 看護セッションセミナー：実践活動発表Ⅰ（参加・聴講：110名）

「看護要員教育の工夫と実際」

- ⑤ 看護セッションセミナー：実践活動発表Ⅱ（参加・聴講：105名）

「ワーク・ライフ・バランスを考える職場の工夫と実際」

- ⑥ 病院ITセミナー：導入構築事例発表Ⅱ（参加・聴講：80名）

「ICT利活用－救急医療体制の構築と推進・活用の実際／全国初！救急車でiPadを活用した佐賀県の挑戦」

【感心の高かった出展者プレゼンテーションセミナー】

- ・ (株)コア・クリエイトシステム（参加・聴講：58名）

「電子カルテに求めるもの～現場の本当の声～」



医療安全と医療事故調査制度

済生会福岡総合病院
副院長

関口 直孝

「安全第一」。工事現場などで掲げられているこの標語は、1900年代初頭、当時のUSスチール社長のゲーリー氏が提唱したものです。この会社理念が労働災害の減少と品質・生産の向上に大きく寄与したことから、その後世界中に広まってきました。

医療においても「安全」は大変重要なテーマです。日頃より安心・安全な医療の提供に努めているものの、実際の現場ではヒヤリ・ハットの事例は少なくありません。有害事象にも様々なレベルのものがありますが、1999年と2002年に大病院で発生した死亡事故によって医療不信が深刻化したことをうけ、医療事故調査の意義や仕組みが検討されました。

十数年もの長期間にわたる多くの議論を経て医療事故調査制度が制定され、2015年10月に施行開始となりました。この制度における「医療事故」とは、いわゆるアクシデントとは異なり、「医療従事者が提供した医療に起因する（または起因すると疑われる）死亡又は死産であって、当該管理者が当該死亡又は死産を予期しなかったもの」と定義されています。予期しなかったか否かについては、①事前に患者や家族に死亡の可能性があることを説明していたか、②事前に診療録などに死亡のリスクを記録していたか、③当事者などからの事情聴取と医療安全管理委員会からの意見聴取を行った上で死亡を予期していたと管理者が認めたか、が判断の基準となります。

医療事故が発生した場合、当該医療機関における院内調査が行われますが、まずは第三者機関である医療事故調査・支援センター（日本医

療安全調査機構）への報告が必要となります。中立・公正で透明性の担保された調査を行うために、医師会や学会などで構成される支援団体から専門家をよび、外部委員として院内調査に参加していただくよう要請します。院内事故調査では、臨床経過の把握、原因の究明、再発防止策の提言を行います。調査終了後、結果を遺族に説明し、第三者機関にも報告する手順となっています。

ただし、本制度にはいくつかの課題が指摘されています。「医療事故」の判断は医療側に委ねられており、患者遺族側から事故の届出はできません。医療側主導であるため、患者遺族が調査に対して不安を抱き納得しないケースも考えられます。一方医療側は、遺族との見解の相違から医療紛争や個人の責任追及が増加しないかと懸念しています。手を尽くしても医療は望むべき結果を確約できるものではありませんから、医療を施す前には詳細な説明を行い十分な理解が得られるように努めることが、また予期せぬ事故が起こってしまった際には適切で真摯な対応が、強く求められています。

複数の医療機関で医療を提供した患者が死亡した場合は、死亡の要因となった医療を提供した医療機関から報告することになります。したがって、患者側と医療側の相互理解とともに、病院間の情報共有や連携・協力も大変重要です。

安全第一のトレードマークが緑の十字であることは、皆様御存知でしょう。われわれ医療者に馴染みのある赤十字マークは、色違いでよく似ています。この赤十字マークは病院や医療を象徴するマークとして認識されているかもしれ

ませんが、その使用については赤十字社と法律等に基づいて認められている組織に限られています。無断で使用すると、東京オリンピックの

エンブレム問題のような「予期せぬ事態（事故）」に発展する可能性もありますので、ご注意ください。

病院管理

医療事故調査制度の事故調査委員会について ～福岡方式の初期対応を経験して～

国立病院機構 福岡東医療センター
副院長

江崎 卓弘

《はじめに》

今年10月1日から、医療に起因もしくは起因すると思われる予期しない死亡事例について院内調査を行う「医療事故調査制度」が施行された。この制度は死因究明のために院内調査委員会を開催し、可能であれば再発予防につなげることである。

私が在籍する病院の院長は国立病院機構の拡大医療安全管理委員会や『福岡県医師会方式調査分析事業（福岡県医師会方式）』に係った。両者とも院外委員が委員長を担い、院外委員と病院側委員が忌憚のない審議で病態を究明する点は同じである。両者の院内事故調査委員会に院外専門委員として複数回参加し、また、福岡県医師会方式の初期対応を担った。これらの経験と感想を本稿で紹介することで少しでも関係者の参考になれば幸いである。

1. 院外専門委員としての参加

筆者は拡大医療安全管理委員会や福岡県医師会方式の審議に、院外委員として、振り返れば何も理解しないままに参加していたように思う。それでも、委員会に先立ち送られてきた診

療録や放射線画像、検査結果に目を通し、病態の概略を考えて、委員会に臨んだ。当然のことながら、人が亡くなるには多くの臓器に障害を来し、多種多様な可能性が論じられた。専門領域外の耳慣れない言葉や議論に遅ればせながら付いていくのが精一杯で、準備した質問や意見を出すタイミングを探る間に、議論が終わることも少なくなかった。当院院長の「江崎君、黙っていたら何のために来たか判らん。とにかく口を開け」との励ましか叱責か判らない言葉に、背中を押されて発言してみた。なかなか議論がかみ合わないこともあったが、私の一言が端緒となって、議論が盛り上がると、医療事故の審議に参画した実感を味わい、ほっとする瞬間であった。参加した委員会で、過誤が否定され、診療の妥当性が明らかになるにつれ、関係者の表情が和み、当該病院長の安堵の顔を見ると、医療事故審議の意義を実感した。

院外専門委員としての経験は、存外、当院の医療安全体制にもいい結果を与えたように思う。院長の関係で、当院からは多くの医師が院外専門委員として医療事故の審議に参画した。回数を重ねるごとに、当院の医療安全に対する姿勢が徐々に変わり、協力姿勢が徐々に芽生え

ていくのは有難いことであった。筆者自身、病院では医療安全の責任者で関係者の聞き取りや患者さんの対応窓口や院内の医療安全管理委員会の委員長を担っている。振り返ってみると、院外専門委員の経験は話を聞く上で、委員会の審議を行う上で、自分なりに役に立っているように思う。当院院長が報告書を作成したり、委員会の開催の世話をする姿を傍らで見るうちに、自分も委員会開催への積極的な関与の係わりを漠然と考えていた。

2. 初期対応の経験 (院内事故調査委員会の準備作業)

医療事故死亡事例の初期対応担当者を仰せつかった。幸い初期対応は2名で担当することになっていたので、相方（福岡県医師会医療事故調停委員）のおかげで不安や緊張感は二分された。事故調査依頼の申請書と診療録等の資料をもとにして、自身では珍しく入念な論点整理を行った。そして、病態究明と診療の妥当性を審議する上で必要と思う事象を漏れなく拾い、整理した。何度も推敲を重ね、院内の信頼する数人に意見を求めた。「論点が多すぎる。」、「回りでどの論点では審議が円滑に進まない。」等々の指摘を受け、院長に相談した。院長からは指導や修正を繰り返され、ようやく論点が完成した。二人とも初体験であることから、県医師会の配慮で同じ郡市医師会に属する者同士で、当該病院を訪問した。

初対面で、病院側関係者からは死亡事故の経験とこれから始まる未知の事故調査に対する不安な想いと緊張感を感じた。初体験で緊張した我々と、双方の面談は独特の雰囲気が始まり、自己紹介に続き医師会側から調査委員会の目的である死因究明と委員会開催に係る準備作業について説明した。この時、対応者2名で事前に打ち合わせしていたが想定通りにはいかず、緊張感はさらに増した。続いて当該病院から経過

概要を聴き、医師会側は事前に考えた論点整理に関する質問や資料作成の準備を依頼したが、ともに緊張した雰囲気の中で打ち解けた質疑を行うことは難しかった。そのとき、同行した医師会責任者（福岡県医師会上野副会長）が、「病院と医師会が協力して事実を究明したい。病院の疑問や納得がいかないことは何でも言って下さい。」と力まない風情で伝えると雰囲気が少し緩んだ。

当初、初期対応の面談に要する時間は1～2時間と想定していたが、結果として3時間ほどかかり、少々疲れた。この経験から“対応者にはリラックスした雰囲気です話しかけることができる人柄と事故内容に関連した診療科の専門知識”が必要なことを痛感した。

初期対応に続いて委員会までの間に、必要な資料作成やその進捗確認のために筆者は数回に及ぶ電話連絡や病院訪問を行ったが、そのたびに病院側との信頼関係が増した気がする。

3. 院内事故調査委員会

病院側の臨床経過の説明で始まった院内事故調査委員会は、筆者の作成した論点整理に従い、粛々と、そして忌憚のない審議が行われた。筆者は、「当該病院の素晴らしいプレゼンテーション」に感心し、病院との打ち合わせを繰り返したことが少しは役に立ったと密かに納得した。筆者の考え通り、病院の診療に過誤はなく、参画した専門委員の全てが誠意ある真摯な診療を称賛したことに胸をなでおろした。審議の最後に、「小康状態の患者の病態が変化した時期に関して、当該病院の看護部長から看護の視点での的確に発言された」ことに感心した。会議終了後に病院側の責任者が安堵の表情で我々委員に一人ずつ謝意を示された。病院側と院外専門委員との間で連帯感や達成感が共有されたと実感した瞬間であった。

ハイブリッド放射線治療

医療法人 原三信病院
診療技術部 放射線治療技術部門 顧問

廣瀬 哲雄

診療部 放射線科 顧問

寺嶋 廣美

1、はじめに

日本人のがん罹患数の予測は2015-2019年（年平均）は85.3万人、2020-2024年は90.3万人となり、その半数が75歳以上になる時代を迎えようとしています。このような時代を見据え2015年9月1日、原三信病院に「放射線治療・ハイパーサーミア センター」を立ち上げました。これまで当院にてがん治療に貢献してきた密封小線源¹²⁵I前立腺癌治療、ハイパーサーミアおよび放射線治療の部門をひとつにまとめ、次世代へ向けた患者サービスを効率的に提供できる新たな組織となりました。本センターの特徴は「ハイブリッド放射線治療」を掲げ、根治的治療から緩和的治療まで幅広い要望に対応できる体制です。

2、ハイブリッド放射線治療の構築

2025年に向けての社会保障制度改革のなかで診療報酬改定は病院機能を未来へ向けて誘導しています。当院もこれまで展開してきた機能を生かしつつ、次世代へ向けた新たな医療サービスを追加し、地域連携の強化と地域医療に貢献できる高機能的な体制づくりに取り組んでいます。

当院のがん治療はこれまで手術療法と化学療法を中心に、必要に応じて放射線療法を他院に依頼してきました。2008年8月に密封小線源¹²⁵I治療を導入し、前立腺癌の放射線治療が可能となりました。2012年6月にはハイパーサーミア装置（サーモトロン-RF8）を設置し、手

術療法、化学療法およびハイパーサーミアが可能となりました。2014年11月には、高精度放射線治療装置（トモセラピー）を導入し、ハイブリッド放射線治療の構築環境が整いました。

3、ハイブリッド放射線治療とは

当院では高精度放射線治療+ハイパーサーミア+化学療法を「ハイブリッド放射線治療」と名付けています。その理由として、高精度放射線治療装置の登場により腫瘍周辺の正常組織を極力温存し、腫瘍投与線量を20%ほどエスカレーションできるようになり、放射線治療の根治性が高まりました。さらに、ハイパーサーミアと化学療法を併用することにより治療効果が増強されます。外科療法との併用では、腫瘍が大きく周囲の重要な臓器に浸潤して手術困難な場合、腫瘍縮小を目的として術前放射線療法+化学療法+ハイパーサーミアが適用されます。術後の残存腫瘍に対しても、放射線治療、化学療法、ハイパーサーミアの併用にて根治性を増すことができます。

4、ハイブリッド放射線治療の位置づけと機能

がん罹患数が増加し高齢者比率が拡大するなか、がん治療はより低侵襲的療法にシフトしていくと考え、その治療法のひとつとして当院はハイブリッド放射線治療を位置づけました。これまでのがん治療の主流は、① 外科療法+化学療法、② 放射線療法+化学療法、③ 化学療

法単独がおこなわれてきました。もちろん必要に応じて①の外科療法+化学療法に術前もしくは術後の放射線療法を追加する方法もおこなわれています。当院の提示するハイブリッド放射線治療は、主に根治的療法に威力を発揮いたします。また、既にあらゆる治療を施した後の再発や転移例においても、放射線療法、化学療法、ハイパーサーミアを併用して、準根治的治療や緩和的治療もおこないます。

5、ハイブリッド放射線治療を支える高精度放射線治療装置

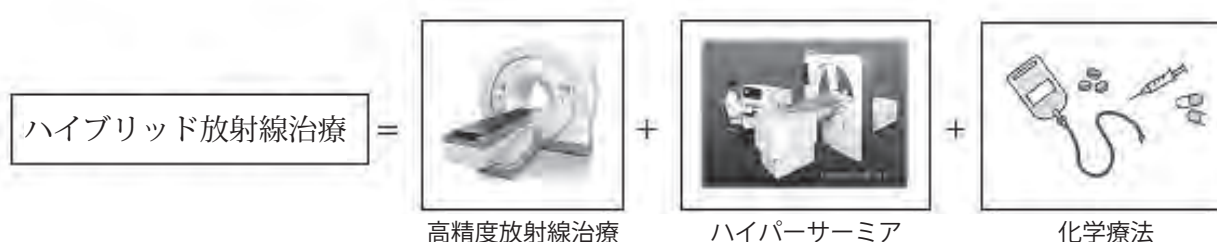
ハイブリッド放射線治療には高精度放射線治療装置が不可欠であり、その理由は投与線量と精度に関係します。放射線治療装置はコバルト治療装置に替わり直線加速放射線治療装置（リニアック）が普及して40年ほど経ちます。この装置が手術療法に匹敵する治療成績を納めることができるようになったのは、ここ10年ほどのことです。その背景にはふたつの核心的技術があり、一つは目的とする腫瘍に対してより均一な線量分布を確保し正常組織への影響を極力抑え、かつ投与線量を増加することのできる強度変調放射線治療（IMRT）、もう一つは、数十回に及ぶ放射線治療期間のうち毎回の照射位置精度を治療ごとのCT画像等で照合し、ミリ単位の精度を担保する画像誘導放射線治療（IGRT）です。当院ではこれら最新技術を搭載したトモセラピーHDを導入し、治療成績の向上を目指しています。

6、ハイブリッド放射線治療を支えるハイパーサーミア

ハイパーサーミアは42.5℃以上で癌細胞が急激に死滅することを利用した治療法で、放射線増感効果、化学増感効果も顕著であり、健康保険が適用される治療法です。放射線治療との併用では、加温による温度上昇により癌組織内の酸素分圧が高くなり放射線の治療効果が高まります。また、放射線治療によるDNA損傷からの回復を阻害し、癌細胞の致死効果を増します。放射線治療のみでは制御不能な巨大腫瘍がハイパーサーミアとの併用にて消失した症例も認められています。抗がん剤の増感作用も重要です。加温にて腫瘍細胞内に多くの薬剤が取り込まれ、抗腫瘍効果が高められます。これにより抗がん剤投与量の低減も可能となります。42.5℃よりも低い40℃前後のマイルドハイパーサーミアでも有効ですし、低用量の抗がん剤や一度は耐性となった抗がん剤でも併用効果が認められます。免疫賦活効果も認められており、ハイパーサーミアによる温度上昇が、樹状細胞やリンパ球の抗原提示機構を増強しがん抗原を認識しやすくなります。さらにリンパ球やNK細胞などの免疫担当細胞も増加します。副作用が少なく長期間の治療も可能であり、根治的療法のみならず緩和的療法としても注目されるようになってきました。ハイパーサーミアを希望する患者さんは、ホームページやインターネットで検索し来院される方も多くみられます。

7、まとめ

時代は「社会保障・税一体改革」で示されたキーワードに導かれています。そのなかでも「病床機能の分化・強化」と「地域包括ケアシステ



ムの構築」のなかの医療の役割は重要と考えられます。この度ご紹介したハイブリッド放射線治療は「地域連携型ハイブリッド放射線治療」として、地域の病院およびクリニックと連携を始めました。今後とも根治から緩和まで、地域医療との連携と貢献を推し進め、地域における共生を目指しています。

【参考資料】

■ http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10601000-Daijinkanboukouseikagakuka-Kouseikagakuka/0000092461_1.pdf

国立研究開発法人審議会高度専門医療研究評価部国立研究開発法人審議会高度専門医療研究評価部会資料

■ がん温熱療法ガイドブック 日本ハイパーサーミア学会（2008年5月）

病院管理

検査部の立場から患者サービスを考える

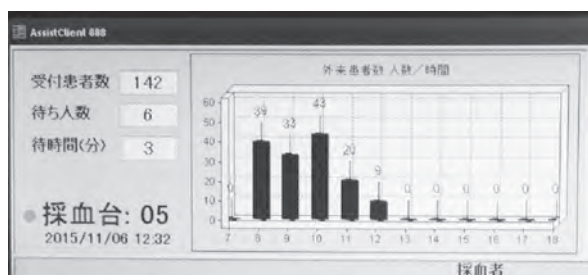
済生会福岡総合病院
生理機能検査室長

宇治川 好枝

当院検査部は、検体検査と生理機能検査に分かれて業務を行っております。

検査部では「正確、迅速、安全な検査結果を提供し、病院職員や患者さんに信頼される救急病院としての検査室」をモットーに、「患者さんのために何ができるか」を常に考え取り組みを行っています。

て頂いた患者さんへの気持ちに配慮した言葉掛けに役立っています。



1. 検体検査室の立場から

○ 採血業務支援システムの導入

外来患者さんの採血は中央処置室にて看護師と技師で行っています。システムの導入により、採血管準備装置や本人確認時の機器照合により採血ラベルの貼り間違いや患者間違いのリスクが無くなり、待合案内モニタにより患者さん自身が呼び出しタイミングを把握できるようになりました。また、採血術者側モニタにおける呼び出しまでにかかった時間の表示は、待つ

○ 検体の前処理の見直し及び測定方法の見直し

検体到着からの前処理を工夫したこと、免疫血清項目等の測定方法を見直し反応時間を大幅に短縮したことで、より迅速で正確な結果報告が可能となりました。

近年のシステム導入・全般的な検査の見直しの前後の待ち時間調査の結果、採血までの時間はやや長くなったものの検査部での測定時間

が短縮され、結果として採血受付から結果報告までの時間はほぼ横ばいとなっています。しかしながら、上述のとおりヒューマンエ

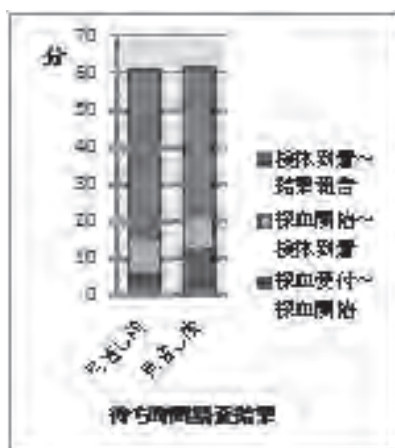
ラーの排除や患者さんの待ち時間の把握など、間接的ではありますが患者サービスに寄与出来ていると考えます。

2. 生理機能検査室の立場から

生理機能検査室では、様々なエコー検査及び機能検査があり、患者さんが安心して検査を受けていただけるよう心がけ日々業務を行っています。一方で、臨床からの新規検査の導入や計測項目の追加など要望も多く、検査種類と検査件数は年々増加し待ち時間も比例して長くなっているのが現状です。質の高い検査と待ち時間短縮はどちらも重要ですが、一方だけを解決するのではなく両者のバランスを保ちつつより良い方向に導けるよう努力しています。

○ チェックリストの作成・コントローラー役の配置

生理検査室内の複数の検査を円滑に行うため、同一患者さんの検査項目が分かるリストを受付時にカルテに添付、コントローラー役を配置し各担当者に状況を確認し待ち時間を最短にしています。また、チェックリストには生理検査受付時間も記載されており、採血時同様に検査時の患者さんへの言葉掛けに役立っています。



○ 待ち時間表記

日によっては特定の検査で待ち時間が長くなるケースがあります。待合室にその大凡の待ち時間を表記することにより、患者さんの理解を得るよう努めています。



○ 番号札の活用

様々な検査の中でも特に心エコーは当日の検査依頼も多く、予約患者さんの合間に検査を行っています。当日依頼の方には番号札を渡し、待合室に進捗を表示することで、当日依頼の患者さんの中での順番が把握できるようになっています。

○ 受付担当者の目配り

上記のような仕組みを用いても、カルテを出していない患者さんや検査の終了したはずの患者さんが待合室に間違えて待っておられることがあります。受付担当者は、同じ患者さんが長時間待っていないか、具合が悪そうにしている患者さんがいないかなど目配り・気配り・言葉掛けを大切にしています。

このように、検査部では様々な取り組みを行っています。

その他の活動として、当院 BSC に基づく活動として今年度より朝礼時に病院理念・基本方針・クレドの唱和を開始、検査部内に小さなありがたいを集めるためのボードを設置しました。互いを認め合い・切磋琢磨できる風土を整えること、「報・連・相」が行き届いた風通しのよい職場環境を作ること、ひいては患者サービスに行き着くものと考えています。

受付で学んだこと

済生会福岡総合病院
放射線科 受付

酒見 牧男

私は歯科技工士として約30年間、放射線科受付として約10年間勤務をし、その経験から二つの視点を持つ事ができました。一つは、資格を持つ者の視点、もう一つは、資格を持たない者の視点です。その視点からいくつか、受付の仕事をしてながら先輩に教えてもらった事を書きたいと思います。

資格の死角

資格を持っているという事は、社会で活躍する為の強力な武器になる、と同時に、行動の範囲を狭めてしまう諸刃の剣でもあります。私が受付に移ってからは、「なんで俺がこんな事を」の連続でした。それは逆に、「俺はこんな事もできないのか」という事でもあるのです。資格の無い者の仕事は多岐に渡ります。何でもできなければなりません。これは、人間が生きて行く為には、重要な能力でもあるはずです。資格に甘んじる事は、生きる力の制限にもなるのではないのでしょうか？難解な哲学の本を読めるより、スーパーの品物の値段を知っている方が役に立つでしょう？

雑用は無い？

世の中に、雑用という用はありません。ただ、用を雑にやっているだけです。雑用だと思うから、嫌々やって失敗するし、集中力も失うのです。これは本業？にも影響するので、恐いですよ。自分の仕事ではない、と思っている事でも、丁寧にやってみれば、気持ち良いし、死角は減るし、一石二鳥です。

「私は忙しい」は「私は焦っている」

よく「忙しい」という事を、口癖のように言う人がいますが、そういう人の動きを見ていると、バタバタして落ち着きがありません、つまり焦っているのです。受付に移った頃の私の動きがそうでした。このような人が近くにいると、そのペースに巻きこまれて、大変です。仕事は捗らないわ、ストレスは溜まるわ、良い事はありません。そのような時には、わざとゆっくり動いたり、喋ったりすると、何となく落ち着く事も経験で知りました。「忙しい」というのは相対的な言葉なので、何かと比較しています。その対称は、常に周りの人達なので、同僚との連携も上手くいかないでしょうね。そんな事を、わざわざ言わなくても、焦っていると、とにかくカッコ悪いのです。無理矢理にでも良いから、カッコ良く行きたいですね。それが、良い結果に繋がるのなら尚更です。

準備・実行・後始末

最後に、準備・実行・後始末の三つが、同レベルで重要視されていなければ、良い仕事はできない、という事です。大抵は、実行に重きがおかれてバランスが崩れているでしょう？準備を怠れば実行できないし、後始末が悪ければ、次の準備に時間が掛かる。これで、良い仕事ができれば奇跡ですね。効率を追うと、集中力が無くなります。特に、病院という所は、いつ、何が起こるか分からないし、集中力が無くなると困る事が多いのではないのでしょうか？受付の仕事は、直接医療行為を行うものではありません。

んが、私達のミスが、患者様にご迷惑をおかけするのだという事を、肝に命じるべきでしょう。

文字数が足りないようなので、蛇足ながら付け加えるならば、私のライフワークである武術の世界に、防御を意味する「受け」という言葉があります。これは、相手の攻撃を弾き返したり、叩き落したりすることではありません。「受け」とは「受け入れる」事です。相手の攻撃を受け入れて、相手と共に一つの技を完成させる

のです。決して「攻撃は最大の防御」等という単純なものではありません。「受け」付けの仕事も、このように行えたら、最高の仕事になるでしょう。

私は、来年定年を迎えます。幸い、再雇用をして頂けるという事なので、二つの視点に、還暦を過ぎた老人の視点を加えれば、もっと違ったものが見えてくるのではないかと期待しています。

寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテンのリース洗濯 患者私物衣類の洗濯

☆寝具・カーテン・看護衣・診察台カバー・タオル・紙おむつ・レセプト用紙
介護用品等の販売、ベッドマットリース・販売、給食材料・給食依託業者・
重油等の斡旋及び各種保険の取扱いもしております。

福岡県私設病院協会グループ

福岡医療関連協業組合

Clean & Comfortable



理事長 陣 内 重 三

専務理事	吉松 秀則	理 事	佐田 正之
理 事	原 寛	監 事	牟田 和男
理 事	武田 正勝	監 事	津留 英智
理 事	江頭 啓介	事務局長	関 賢司

〒 811-2502 糟屋郡久山町大字山田 1217-17
TEL 092-976-0500 / FAX 092-976-2247

看護 の窓

カタカナ語の急増と 安易な活用に懸念

医療法人 西福岡病院 看護部長 馬渡 加夜子

看護界に限られたことではないがカタカナ語（外来語）が氾濫している印象がある。研修テーマにもカタカナ語が使われることが増えており、カタカナ語を使うことが関心を引き付ける手段ともなっているように感じる。知識とは、親にもしくは学校や職場で、そして研修等で積み重ねられていくものと思うが、表現のみが微妙に変わることによって連続性が絶たれるような気分にもなることがある。「さらに別のカテゴリーが出てきたのか」と戸惑うことも少なくない。多少トラウマに捉われていた時、『高齢者のエンド・オブ・ライフケア』というテーマの研修案内をいただいたので、その意図について調べてみた。

【高齢化を背景に誰もが安心して人生の終焉を迎えるためには、従来のがん患者の疼痛・症状管理に焦点化した「緩和ケア」や終末期に特化した「ターミナルケア」だけでは十分とはいえず、エンド・オブ・ライフという概念が重要視されてきたもの】と記されていた。これについては、終末期ケアの捉え方そのものが変わりつつあることに認識を改め自己反省したところであるが、やはり、そうでないものが数多くあるのも事実である。ただ、新しい概念は既存の日本語の語句ではうまく表現できないがために、カタカナ語は確かに便利なものかもしれない。

研修テーマの用語だけではなく、研修内容においてもカタカナ語がよく使われている。折半、管理研修を受けた看護師からも「言葉が難しくて」という感想を聞かされた。研修資料を見せてもらおうと、コンピテンシー、スキル、ナ

レッジなどカタカナ語が次から次に出ていた。つい、日本語でそのまま言った方がわかりやすいのではないかと思ってしまった。研修を受けた本人は、カタカナ語を見ただけで「自分は随分遅れているのではないか」と錯覚したようだ。もっといえば、コンプリメント（ほめる）ソリューションフォー（解決）などわざわざ注釈を加えながら使っているものも目立った。経営学や組織戦略論のほとんどがアメリカ発だからということであろうが、専門領域で使われてきた語がそのまま流出する、ここにふれた人達だけの共有語となる、大まかな感じの意味を知っただけの言葉を理解したと思って広がっていく、様々なことが危惧される。それに、あまり目立つと教養の誇示に見えてくるものである。

すでに広く定着し日本語になったといえる「ミッション」「ビジョン」「バリュー」というようなカタカナ語については問題なしとしたいところだが、それでも一つ一つの意味をあらためて調べてみると、「ミッション」とは使命・目的・役割・存在意義など、「ビジョン」とは目標・夢・志・方向性など、「バリュー」とは価値観・あり方・姿勢などと様々な意味をもっており、カタカナ語は、いずれにもとれるような曖昧さが気になる。伝える側は、その場に応じて伝えたいメッセージが異なることもあるはずだが、伝え手と聞き手でそれぞれに解釈し誤解や話の内容が違ってしまいうことも考えられる。結果、コミュニケーションが円滑にいかなくなる可能性もないわけではないだろう。その

他、カタカナ語を使うことに否定的ということではないが、カタカナ語はどれもクールな印象がある。

日本語には、言葉に気持ちを込めたり相手に伝えたい内容や相手の理解度によって使い分けるなどの細やかさがあり、それが日本語の魅力ともいえるのではないか。そんなことを考えつつ世論はどうみているのかと思ってインターネットで検索してみると、日本語で言った方がはるかにわかりやすいという意見が多く述べられていた。中には、「アメリカにある日系の会社では、アメリカ人が「カイゼン」（改善）って言ってます（笑）。」という皮肉もとれるものまで書き込まれていた。

コンピューター関係の言葉や科学の分野の言葉のように、安易に日本語に言い換えることが却って混乱を招くものもあるが、いずれにしても、カタカナ語を受容しつつ、使いすぎを避け、適切に活用していくことが肝要である。また、我が国には「言葉に思いをのせて伝えるということ」を大切にしてきた文化があり、それを受け継いでいく使命もあるはずだ。わざわざ置き換える必要はないもの、日本語で言った方がはるかにわかりやすいものは意思疎通のためにも守り続けていくことが大切ではないかと考える。カタカナ語が飛び交うことによって、日本語独特の比喩表現や擬音語・擬態語・敬語までもが省略されていくことも併せて、この先、懸念するところである。

看護 の窓

医療安全活動を通した職場づくり

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 西 洋子
医療安全専従師長

医療法の改訂とともに当院にも、医療安全管理室が設置され13年が経ちました。医療安全管理専従者には歴代看護師が就任しており、私は3代目(4年目)となりました。



開設当時より専従の役割は幅広く、安全活動、クライシスマネジメント、コンフリクトマネジメントと数多くの業務を担っています。そのため、各部署の医療安全活動は現場安全管理者(所属長)が中心となります。しかし、全職員への安全活動の浸透には、業務をよく知るスタッフの協力が不可欠なため、全部署に医

療安全推進委員(以下委員)を任命し活動しています。

医療安全推進委員の任命と今年度の活動

医療安全推進委員会は、委員長(専従者)、副委員長(師長)に委員45名を入れた総勢47名で構成されています。委員は、病棟、外来、透析室、手術室の各部署から、医師と看護師各1名とその他の職域から各1名を所属長が選出し、院長が任命します。委員会は毎月開催しています。

平成25年10月、新病院への移転と同時に電子カルテが導入され、準備していたとはいえ通

常業務にも混乱がありました。2年が経過し混乱は少なくなりましたが、今年度は“ルール通りにできているのか、ルールとすべきものはないのか”の確認作業を中心に活動しています。

推進委員会における専従者の役割

委員会開催にあたり、各委員は自部署だけではなく、他部署スタッフとの事前準備、情報交換も必要となり、大変な一面があります。私も資料作成や調査協力依頼、「医療安全だより」による通知などの役割を担い、全部署に発信しています。

看護部委員による活動紹介

看護部委員は全体委員とは別にヒューマンエラーや事例分析手法など医療安全に関する基礎知識を学習する機会も設けています。自部署のインシデント発生時に正確に事象を捉え、システムへ目を向けた対策の立案ができるようにするためです。

他にも、「検査」「危険予知」「分析手法」「チーム STEPPS」の4つのテーマでグループワークを実施しています。年度初めに、目標設定し、具体的行動計画（学習会の開催、部署訪問によるマニュアルの遵守調査、e-learning による知識確認など）を立て、実行中です。

「危険予知」では KYT（危険予知訓練）基礎4ラウンド法の教育 DVD を作成し、全看護師がいつでも視聴できるよう整備しました。「チーム STEPPS」では紹介 DVD を作成し、全体研修会前に放映し、多職種へ情報提供しました。今後は多くの事象の原因となる職種間のコミュニケーションエラーが減少できるよう、看護師以外の職種への浸透を図る予定です。

全委員による活動紹介

全体での委員会開催時間は内容を絞り込むこ

とで原則1時間以内としています。活動テーマは「安全な投薬」「転倒転落予防」「インフォームド・コンセントの充実」「肺血栓塞栓症発生予防」の4つです。

「インフォームド・コンセントの充実」では、説明用紙の使用、医師以外の職種の同席、説明後の患者・家族の反応の記録を推進しています。年2回の調査では、説明日時設定時に医師から看護師への声かけが増え、事前の業務調整ができるようになりました。説明用紙の使用率、看護師同席率、反応の記録率は昨年度より上昇しており、患者・家族の理解度の向上に貢献しています。

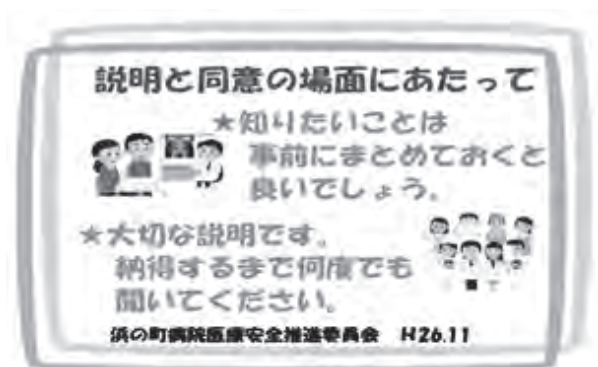


多職種によるグループ活動の様子

医療安全推進週間の活動紹介

平成13年に開始された「患者の安全を守るための共同行動」の一環として、医療機関や医療関係団体等における取組みの推進を図り、また、これらの取組みについて国民の理解や認識を深めることを目的として、「医療安全推進週間」が設けられています。

当院でも毎年、医療安全への患者参画を目指し、テーマを決めて活動しています。昨年度は、“説明と同意の場面にあたって”のリーフレット入りポケット・ティッシュと転倒予防のリーフレットを配布しました。外来患者さんには事務職員が、入院患者さんには推進委員が病室に出向き直接声をかけ、ご協力をお願いしました。



「転倒予防教室」の開催は“継続的にやってほしい”との参加者からの声もあり、今年度も開催予定です。



転倒予防教室の様子



最後に

委員は2年程で交替しますが、この活動を通して、仲間が増えていきます。一人の活動が中心の私にとっても4年の間に多くの仲間ができました。委員経験者からも部署訪問時などに相談を受けることもあります。情報交換では率直な意見も聴けるようになりました。

このように、委員自身も「医療事故を起こさないように」ではなく、「安全な状態をどうつくるか」という視点で現場を振り返り、不安全状態を少しでも減らす活動が継続できるようになりました。このつながりを通し、多職種も交えた改善活動が各部署で深まれば、よりいっそう医療の質が向上します。患者さんに、安心・安全な医療が提供できることは、職員にも働きやすい、風通しの良い職場作りにつながると考えます。

各種委員会 の紹介

No. 4

栄養管理委員会紹介

栄養管理委員会 委員長 山口 貞子
九州大学病院 栄養管理室長

栄養管理委員会についてご紹介いたします。
当委員会は栄養管理に関する研修会を担当しています。毎回、その年度の話題になっている疾患についてと、特に前年度に開催された時にやっているアンケートの結果を参考にテーマを決め開催しています。平成24年度より診療報酬の入院診療計画書に「特別な栄養管理の有無」があり、その作成に医師、看護師、管理栄養士など他職種が関わって作成するようになっています。そこで、皆さん周知のように生命を維持していくためには、必要栄養量を確保する必要があります。その栄養をどのようにとっていくかが課題となっていると思います。我々医療の場においては、何らかの疾患がある患者さんの栄養管理を行っています。患者さんの治療効果を上げ、患者さんの食に関する満足度を上げる栄養管理を行うことが必須と考えます。そのためには、栄養に関するより多くの知識を習得する必要があります。他職種が一緒になって同じ情報を共有することで、実務への反映に役に立てると確信しています。

この研修会の特徴は、日本病態栄養学会をはじめとして4学会認定資格の認定単位が取得できるように配慮しています。その効果もあり、他職種の参加が多く特に看護師が参加者の半数になっています。また、通常の日で開催すると管理栄養士の参加が少ないことを考慮して昨年からは土曜日開催するようになり、参加者が増加しています。

今年度、第64回栄養管理研修会について報告します。先に今回の研修のポイントについて述べます。高齢化になり、栄養面においても高齢者に関わる栄養管理が注目されています。高齢になれば認知症を伴う患者も少なくなく、疾患の治療を行なう上で、それぞれの疾患に適した食事が必要です。そこで高齢者にも多い疾患の糖尿病・死亡率第1位である「がん」・サルコペニア予防のリハビリ栄養についての研修です。

実施日は平成27年8月29日（土）10:00～16:20、場所は九州大学病院臨床大講堂で開催しました。参加人数は256人でした。今回は、例年の会場である九州大学医学部百年講堂が改修工事中のため使用できず、250人収容の会場であったため、昨年より少ない人数でした。次にアンケート調査を行いましたので、簡単に報告します。回収率は88.7%で、職種の内訳は約半数が管理栄養士（48.9%）、次いで看護師（41%）でした（図1）。研修会の評価の結果は約80%が「内容」非常に良い・だいたい良い、「理解」よくわかった・わかった、「活用度」非常に役に立つ・役に立つでした。参加した理由は、「テーマに興味があったから」が一番多かったです（図2）。次回の研修会で希望されているテーマは、「高齢者の栄養管理」が一番多く、次いで「糖尿病」でした（図3）。

この結果を参考に次回の研修会を計画していきたいと考えています。

図1 職種

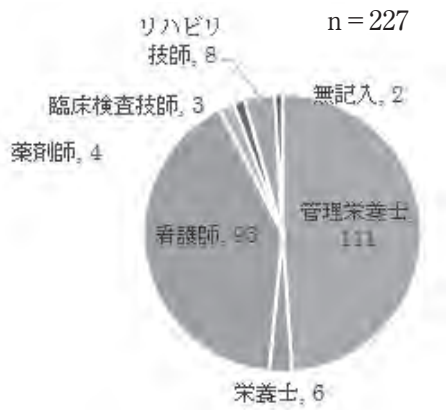


図2 今回の研修会に参加された理由は何ですか？（複数回答可）

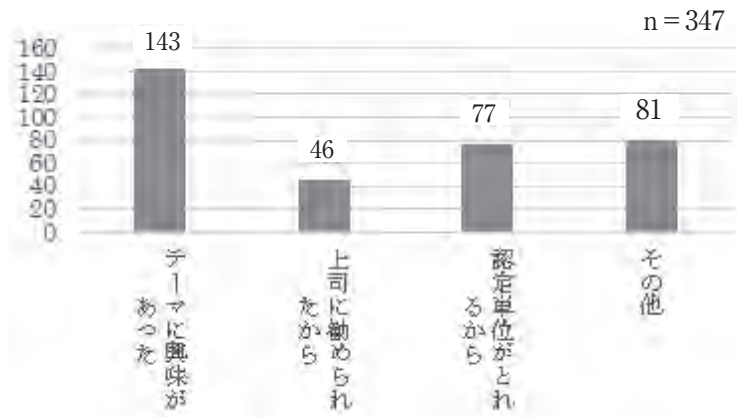
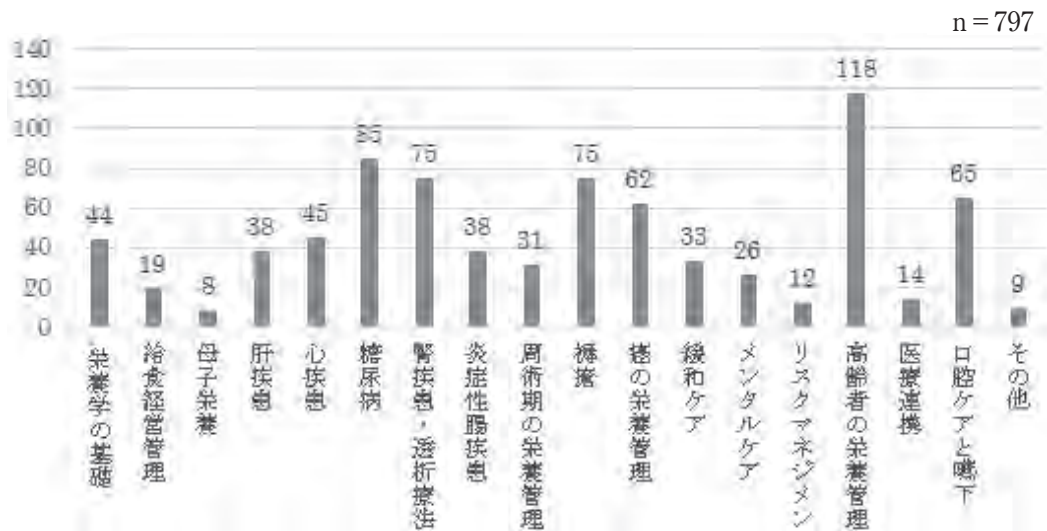


図3 今後どのような研修テーマを取り上げてほしいですか？（複数回答可）





一番大切な思いやり…

「安心・安全・清潔」



医療関連
サービスマーク認定

TAIYO 太陽セランドグループ

太陽セランドホールディングス株式会社
〒812-0044 福岡市博多区千代 1-1-5
TEL 092-641-2578 FAX 092-641-5778

太陽セランド株式会社
〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200
TEL 0947-44-1847 FAX 0947-44-5805

代表取締役 社長 **中島 健介**

太陽セランドグループ会社

- 太陽セランドホールディングス株式会社
- 太陽テルリネン株式会社
- 株式会社セランド

太陽セランド株式会社

- ジャパンエアマット株式会社
- 株式会社サンウエックス

太陽インダストリー株式会社

- 株式会社北九州シーアイシー研究所
- 株式会社おたふく屋

太陽シルバースervice株式会社

- 株式会社メディカルナビゲーション

お問い合わせ TEL 0947-44-1847

Mail info@taiyoseland.co.jp

Web <http://www.taiyoseland.co.jp>

一枚の油絵

医療法人西福岡病院 耳鼻咽喉科 森園哲夫

メリーランドに住む私の息子にオーストラリアからEメールが届きました。

ひょっとしてあなたは70年代に西豪州大学にいたドクター森園の縁戚でしょうか？ 息子は、森園哲夫は私の父親です。私たちの家族は1977年にオーストラリアからアメリカに移住し、3人の子供たちはそのままアメリカに残りましたが、両親は日本に帰国しました。このメールを父に転送します、と返信しました。息子はマサチューセッツ工科大学の生物学科を卒業して国立小児病院に勤務中なので、論文か何かで名前を見たのでしょうか。

メールの送信者は、フランクという昔の知り合いで、私が1966年から1977年の11年間に、西豪州大学生理学教室の聴覚電気生理学研究室に所属していたときに、同じ教室の血液学の講師の下でPhDの学生として勉強をしていた人です。オランダ人の2世で、気さくな青年でした。

早速、メールのアドレスを頼りに、私からメールをしました。

やあ、フランク、何といううれしい驚きだ。40年もたってまた君の消息を知るなんてとても信じられないね。君の自慢の日本刀や根付けや刀の鍔のコレクションは順調かね。君の今のEメールのアドレスからみて、今は楽ちんな政府のお役人になっているようだね、おめでとう、との私のメールにフランクからは早速返事がきました。

こちらもご同様に何とも嬉しい限りだ。実は、私がセントルイスのワシントン大学でポストドックをしているとき、君のミネソタの家に電話したことがあるんだ。中学生の君の長男が出てきて、いきなり第一声が今オーストラリアとイング

ランドのクリケットのスコアはどうなっているの？ と聞いたのが忘れられないよ。私はあれからパースに帰って、昔の彼女とは別れてしまったので、もうコレクションどころではなかった。同じ生理学教室の薬理専攻のM講師の下でPhDの学生をしていた娘と結婚して、今は4人の息子がいる。長男と次男は鉱山技師としてアフリカで働いている。三男は医学部に行きインターンの2年目で、四男はまだ大学生だが休暇を取ってカナダにスキーに行っている。私は、今ロイヤルパースホスピタルの研究室主任をしている。臨床検査室の監督や家族性高脂血症の研究をやっている。幸せに暮らしているよ。もし西豪州に来ることがあれば是非知らせて欲しいと書いてありました。

私も、こちらの状況を知らせ、西豪州には今まで数回ワイルドフラワーを見にいったけれど、また行く機会があれば是非会いたいね。との返事を送りました。

数日して、フランクから、またEメールがきました。今日、たまたま同僚のフィリップに会って、ドクター森園とコミュニケーションが再開したことを知らせたら、ビッグサプライズなニュースがあった。フィリップから直接知らせが行きますので楽しみに待っていてください、とのことでした。

そして、翌日、早速フィリップからEメールが到着しました。

昨日フランクと偶然出会いました。是非伝えたいニュースがあるので。

私は、パースにいた頃の貴方達のことは一日たりとも忘れることはありません。その理由を今から説明しましょう。10年前、Maylandsの古物商で大きな油絵を見かけました。すぐにラズロウ画伯の絵であることが分かりました。婦人が立っていてその足下にいる幼児を見ており、その幼児は真っ直ぐにこちらを見ている絵でした。とても穏やかな絵で、一目見て気に入り買わずにはおれませんでした。その絵は、今は自宅の壁に掛かっています。あの絵が私の手元にくるまでにどんな道筋を辿ったのか興味がありますね。それにしても、フランクとばったり出会ったその直前にあなたとフランクの連絡が取れたなんて、何という偶然の一致でしょう。ところで、貴方たちは、今までにラズロウ画伯に肖像画を描いてもらったことは無かったでしょうか？

1970年の当時、生理学教室には、女性のラズロウ講師という心理学専攻の人がいて、そのご主人が芸術家で、大学の非常勤講師をしながらご自宅で絵を教えていました。ラズロウ先生ご夫妻は、ハンガリアからオーストラリアへの戦後移民です。ご自宅に招かれ、とても美味しいハンガリア郷土料理の御招待にあずかったことがあります。

そして、私はラズロウ講師に頼みこんで、家内と息子の肖像画を御主人の画伯に描いてもらったことがあったのです。私の主人は芸術家だから

只では描かないから高いかもよ、とのことでした。製作費は、私の1ヶ月分の給料の丁度半分ぐらいだったと思います。その絵は縦150センチ、横100センチ位の大きな油絵でした。当時、息子は2歳でした。

私は、西豪州パース市のMaylandsをアメリカのMaryland思い違いをしたのです。私の息子は、Marylandの国立小児病院に勤務しているので、早速息子にEメールしました。もしかして、

Marylandの古物商にあの絵が収まる可能性はあるだろうか？ 息子の返事は、あの絵がアメリカに渡った可能性は無いと思う、もし私の自宅にあったなら、決して古物商に収まるはずはありませんよ。唯一の可能性は、パースの自宅から盗まれて古物商に収まったのでは無いか？ でも僕はその絵を見た記憶が無いんだ、とのことでした。

私たちのパースの自宅は、大学から車で20分、海岸からは2分ぐらいの、パブリックゴルフコースを見下ろす丘にありました。自宅からインド洋まで歩いて行けるのがとても嬉しく、子供達と日没を見によく海岸まで歩いて行ったものです。1977年にパースからミネソタに引っ越しするときには、荷物は知人の倉庫に預けたり、床下に木箱に入れて仕舞ったりしました。私は直接にアメリカに行ったものですから、日本にはほとんど何も送りませんでした。あの絵のことはすっかり失念して、何となく日本に送ったように思っていました。自宅は不動産会社に頼んで賃貸にだったので、沢山の店子が数ヶ月あるいは数年ごとに変わっていきました。不動産会社も次々と引き継がれて数軒変わりました。1993年に日本に帰国してから、家内と二人でパース市の不動産会社を訪ね、一緒に自宅を見に行き仰天しました。何しろ、家具も壁の絵も、地下室においた木箱も見あたりません。地下室の木箱には、食器や皿小鉢を入れていたのです。当時、香蘭社の社長令嬢が商社員と結婚してパースに駐在しており、帰国時に譲り分けて頂いた高級なものばかりでした。本棚は、オーストラリア特産のジャラという堅い木で作られたもので、衣装箱、鏡台などの家具は英国製で、家内がオークションで購入した思い出のあるものでした。

今にして思うと、あの肖像画も地下室に梱包しておいたままだったのでしょうか。そして、盗人の

店子が持ち出して売り払ったに違いありません。

私からの、絵の道筋についての推測を読んだフィリップからのメールです。

とても興味深いお話ですね。小説家ならすべてのいきさつや、関わった人々の要素を織りなした一編の掌編を書き上げることでしょう。町の片隅の小さな映画館で上映されるかも知れませんね。

私は、あの絵はとても美しいと思います。あの絵には宗教的な雰囲気があります。婦人は、少し悲しそうで、将来に起こる何事かを予感しているかのようです。少年は、明るい瞳をして、生き生きとして、力強さにあふれ、真っ直ぐにこちらを視ています。私たち観客の視線は、母と息子の間を行き来しながら、このイメージの後ろにある意味を思索し続けます。それにしても、連絡が取れてとても嬉しいです。フィリップ。

ゴッホが、お世話になったドクターの肖像画を描いて進呈したけれども、ドクターはその絵が気に入らなかったもので、裏庭の鶏小屋の破れた隙間

をふさぐために使ったので、しばらく、おそらく数年間は、その肖像画は鶏とにらめっこをしていたという記事を読んだことがあります。私たちの絵がそのような運命を辿らず偶然にも気に入ってもらった知人の家で生き延びているのは幸運と言えるでしょう。

家内と息子に、いつかその絵と対面させてやりたい、それまで私が生き延びられるかなというのが今の私の感想です。

わずか1週間のうちにオーストラリア、アメリカ、日本を飛び交った数通のEメールが忘却の闇の彼方に忘れ去られていた一枚の肖像画とそれに関わった人々の懐かしい思い出を甦らせたのです。傘寿を過ぎた今、人々との思いがけない出会いの面白さ、生きていることの幸せをしみじみと感謝しています。

(追記：この文は、福大耳鼻科同門誌への寄稿文を加筆訂正したものです。)



チグリス会のことども

国立病院機構 九州医療センター 名誉院長 朔 元 則
学校法人原学園 原看護専門学校 学 校 長

虎の門病院

本年10月の連休は、チグリス（Tigris）会の仲間達と能登半島2泊3日の旅を楽しんだ。チグリス会と言っても、読者の皆様には何のことか皆目見当もつかないことと思うが、これは1963年（昭和38年）4月から1年間、虎の門病院でインターン生活を送った仲間達の同窓会の名称で、虎を意味するラテン語（虎の学名は *panthera tigris*）に由来する名前である。

国家公務員共済組合のフラッグ ホスピタルである虎の門病院（所在地は東京都港区虎の門。国家公務員共済組合の病院は、浜の町、千早など所在地の町名から名付けられている病院が多い）は、現在も日本を代表する病院のひとつであるが、52年前は創立から5年を迎えたばかりの新しい病院で、これからの日本のモデルとなる病院として大変有名な病院であった。東大閥の病院で、病院スタッフはすべて東大各医局出身者で固められ、病院長は冲中内科書で有名な冲中重雄東大名誉教授（私達がインターンを始めた頃は大概菊雄名誉教授）が務められていた。

当時は大学卒業後に1年間のインターンが義務付けられており、インターン終了後に医師国家試験の受験資格が得られる仕組みであった。インターンは全国どこで行っても良いことになっていたの、学生達は卒業後勝手気ままに全国に散らばったものである。殆どの病院がインターン生の選抜は簡単な面接だけですませていたが、これに筆記試験が加わっていたのが、米軍病院（英語力も検定されるので最難関）と虎の門、聖路加国際病院などの東京の超有名病院であった。

華のインターン生活

昭和38年度の虎の門病院インターン生の応募

者数が何名であったのか私を知る由もないが、試験会場の病院講堂が満杯になっていたことを思えば結構な数にはなっていたと考えられる。何はともあれ、筆記試験と面接を経て、北は北海道大学から南は長崎大学出身者まで計22名（うち女性5名）が採用された。同一大学からは最大2名までの採用となり、九大からは私と牛島定信君（元慈恵医大精神科教授）が選ばれた。

インターンルームという各個人のロッカー以外には共有の大きな机だけが配備されている粗末な一室が宛がわれ、インターン生はその部屋を拠点として2～3名ずつのグループに別れて各科病棟をローテイトする毎日であった。各科の医長（その多くが後に大学の教授に就任されている）や、冲中院長による集中講義も時々行われた。内容は忘れてしまったが、冲中院長の講義は大変熱い名調子であったことを覚えている。

インターン生は医師免許がないため患者を担当することはなく、アフターファイブは全く自由であった。私は初めて親元を離れての東京単身生活を大いに楽しんだ。インターン時代のアルバムをいま改めて翻いてみると、全員参加の一泊旅行（6月に樺名湖、10月に那須高原、2月に箱根）のほか、数名のグループでの八幡平の山歩き、伊豆半島へのドライブ旅行、蔵王へのスキー旅行等々の懐かしい写真で一杯である。私はそのほかにも日赤中央病院でインターンをしていた犬尾修三君（九大第二外科入局も一緒にの学生時代からの親友。故人）と彼のインターン仲間の東邦大学出身の女医さん達との旅行などにも参加していたので、インターンの1年間はまさに青春の思い出が一杯つまった華の1年間であった。

全国ネットワーク

インターン修了後は、レジデントとして虎の

門病院へ残った2名を除く20名が大学医局へ入局した。多くが出身大学へ戻ったので、その結果一挙に友人の輪が全国の大学に広がったことになる。これは全国区の病院でインターン生活を送った者だけに与えられた大きな大きな財産であった。

専門分野が異なっているにもかかわらず各大学の情報が簡単に入手出来るし、患者の紹介も容易である。専門分野が同じであれば更に便利であった。九大第二外科のライバル教室でもあった千葉大学の中山外科へ入局した佐藤裕俊君（元市立船橋病院長、日本臨床外科学会副会長）には大変お世話になった。日本臨床外科学会の特別シンポジウムの共同司会者に誘っていただいたり（2001年11月）、学会の保険診療委員会の委員にも推薦していただいた。私も2005年に主催した第7回日本医療マネジメント学会では、佐藤君の座長で川島康夫君（元関東通信病院麻酔科部長。2012年9月肺癌のため逝去したのが寂しくてたまらない）に手術室の医療安全についての教育講演を依頼したりしたものである。

東京、名古屋、札幌、福岡などで学会が開催された時は、いつも連絡を取り合って旧交を暖めていたが、インターン開始20周年に当たる1983年（昭和58年）2月に、川島君が幹事で全員に声をかけての同窓会が開催された。15名（この時すでに東北大出身の儀間君は胃癌のため逝去していた）が六本木の料理屋に集ったが、その時「日本各地に友人が居る訳だから今後は幹事持ち回りで地方で同窓会を開催しよう」という話がまとまったのである。

メソポタミア文明研究会？

第1回の地方開催同窓会（チグリス旅行会）は1989年5月に福岡で開催。その後北海道トマム（1992年11月）、長崎ハウステンボス（1995年11月）、琵琶湖湖東地方（1998年8月）への旅と3年間隔で1泊2日の旅行を楽しんだ。時間に余裕が出来た2005年からは毎年開催となり、現在は会員の多くが介添人（夫人）同伴で参加している。

昨年知床半島を旅した時の話である。貸切バスのガイドさんから「皆様はチグリス・ユーフラテ

ス河と何か関係がお有りなのですか？ もしかしたらメソポタミア文明の研究会？」という質問を受けた。全く思ってもいなかった質問であった。帰宅後早速、チグリス・ユーフラテス河について調べてみた。チグリス河は水深が浅くて流れが疾い暴れ川なのだそうである。そこから獐猛なものの代名詞として虎（チグリス）という名が付けられたということであった。

新臨床研修制度

私が九州医療センターの病院長に就任した翌年の2004年（平成16年）4月、新しい臨床研修制度が発足した。医師免許取得後の最初の2年間は研修指定病院での総合的な臨床修練を義務付けるという制度である。新制度実施に当たって私が固執したのは、①研修医の選抜には筆記試験と面接試験を併用する、②研修医に出来るだけ快適な居住空間を提供する、という2点であった。

医長達から「筆記試験などしたら誰も応募してきませんよ…」と危惧する声も挙がったが私には自信があった。虎の門病院での経験があったからである。結果は私の予想通り30名の定員に対して全国各地の大学から126名の応募があった。翌年にはさらに受験者が増加して倍率は6.45倍となり、全国で第4位、首都圏以外の病院では第1位であった。マッチング制度が充実してきた現在でもこの傾向は変わっていない。

居住空間の提供には苦勞した。院内外に大きな抵抗があったが、リハビリ部門を縮小し、プールも全廃して、研修医全員が個人用の机とロッカーを持つことが出来るスペースを確保した。その後、院長在任中に予算を獲得して立派な研修医室を新設、宿舎を準備することにも成功した。その原動力となったのは、一重に私自身のインターン生活の思い出である。九州医療センターで初期研修を修了した医師達が全国に散らばって活躍し、50年後にも仲良く集まって楽しい会を持ってくれることを心から祈念している。

東京オリンピックの年（1964年）に結成されたチグリス会、なんとしても次の東京オリンピック2020年までは、今と変らぬ姿で続けていきたいものである。

機関誌「ほすぴたる」広告料金表

区分	記表中			表 紙			
	1 頁	1/2 頁	1/3 頁	表 2 (1/2 頁)	表 3 (1/3 頁)	表 4 (1/2 頁)	(1 頁)
1 月分	15,000 円	8,000 円	7,000 円	10,000 円	9,000 円	11,000 円	20,000 円
半年分 5%引	85,500 円	45,600 円	39,900 円	57,000 円	51,300 円	62,700 円	114,000 円
1 年分 10%引	162,000 円	86,400 円	75,600 円	108,000 円	97,200 円	118,800 円	216,000 円

投 稿 募 集

ほすぴたる誌読者の皆さんの作品を募集します。

写真、エッセイ、俳句、和歌、ニュースなどふるって
ご投稿ください。FAX・Eメールで募集いたします。
多数の応募をお待ちしています。

投稿規定 内 容 ご随意
 字 数 標題などを含んで1頁1,300字程度
 又は2頁2,900字程度
 *ご近影1枚も併せてお願いします

送 付 先 〒812-0016
 福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号
 福岡メディカルセンター2F

公益社団法人 福岡県病院協会

TEL 092-436-2312
FAX 092-436-2313
E-mail : fukukoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp



『感情を 受け止める』

医療法人 杏和会
平尾台病院
病棟主任 看護師

二神 春人

私は、閉鎖病院に勤務している看護師です。

日々、業務を行っていく中で、時に患者さんは、病棟スタッフに対し非常に強い感情をぶつける場面があります。

ある文献では、この感情は、「かつて患者に影響を与えた重要な人物に対して抱いた感情であって解決されないままに過ぎてきたものが、今、目の前にいるスタッフに向けられて湧きおこるもの」との内容を目にしたことがあります。

(精神分析論に基づく転移)

患者さんが看護師に向ける感情は、陽性、陰性症状に関連してその表現はさまざまです。私たち看護師は、強い感情に向けられた時に、しばしば困惑し、とまどい、あるいはそれに巻き込まれ振り回されてしまう。このような事で、自分の気持ちが乱れそうになった時、その感情の原因の全てが、自分にあると考えずに、患者さんが過去においてさまざまな人との間で経験した感情が、今、目の前にいる私に、向けられていると考えるようにしています。そのように考えてみる事ができた時は、患者さんの感情を冷静に受け止めることができます。ただ私たち看護師にも感情があり、患者さんに対して、さまざまな思いが生じるのは当然のことです。時には、腹立たしかったり、時には、可哀そうに感じたり、時には悲しくなって一緒に泣きたくなったり。その看護師自身の感情も同じように

過去の感情体験の反映として考える事が大切なのかな? と…

閉鎖病棟に入院する患者さんは、症状が不安定な方が多く、感情をぶつけられる機会も多い。その度に、ショックを受けた時期もありました。最近では、患者さんを好ましく感じたり、逆にうとましく感じたりするとき、その感情の原因の全てが患者さん個人にあると考えず、その家族背景や生き方にも目を向ける事が大切と思えるようになりました。患者さんと接する事で、自分自身が「人間として成長させていただいているのだなあ」と感じています。

人間の感情というものは、長い間の人間関係のなかで体験した内容によって変動し、その起こり方、あり方はそれぞれです。そうした背景も含めて患者さんを一人の人として理解し接していきたいと考えます。

人間の個別的な感情を理解することは、患者さんと接する上で重要なことであり、感情の源について、一歩立ち止まって考えてみる冷静さと余裕をもって対応することが大切であると感じるこの頃です。



●福岡県私設病院協会・福岡県医療法人協会プラザ

平成 27 年 10 月福岡県私設病院協会の動き

◎看護部長会運営委員会

日 時 10月2日（金）午後3時

場 所 会議室

1. 協議事項

- (1) 認定看護師について
- (2) 中堅看護師のモチベーションアップ対策について
- (3) リース（ユニフォーム等）について

2. 情報交換について

3. 11月研修会について

4. その他 次回協議テーマについて

5. 報告事項

- (1) 前回議事録について
- (2) 私設病院協会研修会について
- (3) 私設病院協会8～9月の動き
- (4) その他

◎広報委員会

日 時 10月6日（火）午後3時45分

場 所 協会事務室

議 題

1. 福私病ニュースの編集について
2. 協会ホームページのリニューアルについて

◎理事会

日 時 10月6日（火）午後4時

場 所 会議室

議 題

1. 会長あいさつ

2. 協議事項

- (1) 会員異動について
- (2) 研修会について
- (3) 地域医療構想策定について
 - ①「地域医療構想調整会議」私病協代表委員第1回合同会議

②「地域医療構想ガイドライン」要約資料等について

③ 福岡県地域医療構想全体説明会の開催について

④ 平成27年度第1回福岡県地域医療構想策定会議の開催について

⑤ その他

(4)「地域医療構想合同研究会」開催について

(5)「福岡県新人看護職員研修推進協議会」への委員推薦について

(6)「事務長会運営委員会」委員の推薦承認について

(7) その他

3. 報告事項

(1) 輸血シンポジウムin九州

(2) 第1回地域医療委員会（県医師会）について

(3) 第57回全日本病院学会in北海道

(4) 協会ホームページのリニューアルについて

4. 協会及び関係団体事業報告

(1) 私設病院協会9月の動き

(2) 看護学校

(3) 医療関連協業組合

(4) 厚生年金基金

(5) 全日病本部

(6) その他

◎第1回合同会議

（地域医療構想調整会議私病協代表委員会議）

日 時 10月6日（火）午後5時30分

場 所 ホテル日航福岡 地下1階
「オルミールの間」

議 題

1. 会長あいさつ

●福岡県私設病院協会・福岡県医療法人協会プラザ

2. 協議事項

- (1) 私病協代表として地域医療構想調整会議に臨むにあたって
- (2) 模擬「地域医療構想調整会議」(県医師会主催)について
- (3) 福岡県地域医療構想全体説明会について
- (4) 地域医療構想における民間病院の立場からの見解について
- (5) 私病協会員への情報提供について
- (6) その他

地域医療計画課長
迫田正深 氏

演 題Ⅱ 「地域医療構想への全日病の取組について」

講 師 全日本病院協会
会長 西澤寛俊 氏

参 加 者 108施設 195名

◎第3回地域医療構想合同研究会
(県病院協会・私設病院協会合同会議)

日 時 10月27日(火) 午後5時

場 所 福岡平和ビル 3F 会議室

議 題

1. 協議事項

- (1) 福岡県地域医療構想調整会議について
- (2) その他

◎研修会

日 時 10月10日(土) 午後3時30分

場 所 ホテルニューオータニ博多 3F
「芙蓉の間」

演 題Ⅰ 「地域医療構想について」

講 師 厚生労働省医政局

おもいやりの心でサポートします

県内精神科病院の寝具及び下着類の洗濯・貸与・販売・補修業務一切
他にグループ保険・病院賠償責任保険等の各種保険

福岡県精神科病院協同組合

理事長 富松 愈

〒810-0005 福岡市中央区清川三丁目14番20号 2F
TEL092-521-0690/FAX092-524-4632

九州一円の医療機関経営をサポートする
福岡県精神科病院協同組合100%出資会社

有限会社 DMS (ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡市中央区清川三丁目14番20号 3F
TEL092-525-7666・7667/FAX092-525-7668

理事会

◎第27回 理事会 報告書

日 時 平成27年10月27日（火）

16:00～17:00

場 所 （公財）福岡県すこやか健康事業団
学術研究センター（聖マリア健康科学
研究所福岡分室）会議室
福岡市中央区天神2丁目13番7号
福岡平和ビル3階

出席者（敬称略）

会 長 石橋

副会長 坂本、田村、竹中

理 事 上野専務理事、安藤総務理事、平
財務理事、津田企画理事、飯田、
一宮、岡留、大塚、小野、壁村、島、
津留、中山、二宮、深堀、村中、
吉村

監 事 田中、福重、

議 長 岡嶋

副議長 梅野

顧 問 今泉

I 行政等からの通知文書の伝達（安藤総務理事）
該当なし

II 公益目的事業関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研修会関係

【開催結果】

ア 第144回 看護研修会（島担当理事）

日 時 平成27年10月2日（金）

9:50～

場 所 久留米大学筑水会館

「イベントホール」

テーマ 「急性期医療から在宅医療へ」

I 「地域と共に生きるを支援 ～
在宅医療～」

講師 NPO 法人たんがく

理事長 樋口 千恵子 氏

II 「心を添える看護で在宅医療を
支える」～宗像地域在宅医療
ネットワークの取り組み～

講師 宗像医師会在宅支援室

訪問看護管理者 阿部 久美子 氏

※ 受講者数 117 名

受講料収入 453,500 円

イ 第1回 臨床検査委員会（壁村担当理事）

日 時 平成27年10月6日（火）

16:00～

場 所 福岡県医師会館 6 階 研修室 4

協議事項

1 委員長等の選任について

2 平成27年度病院管理システム研
修会の開催について

3 その他

ウ 第1回 リハビリテーション研修会

（津留担当理事）

日 時 平成27年10月24日（土）

13:30～

場 所 福大メディカルホール

テーマ 「在宅復帰への課題 どのよう
な在宅復帰を目指すべきか」

基調講演 「地域包括ケアシステム構築を
目指した在宅復帰のあり方」

講 師 産業医科大学医学部 公衆衛生学
教授 松田 晋哉 氏

座 長 医療法人共和会小倉リハビリテー
ション病院

名誉院長 浜村 明德 氏

シンポジウム

座 長 医療法人社団水光会宗像水光会
総合病院 理事長 津留 英智 氏
社会特定医療法人原土井病院
院長 小柳 左門 氏

① 急性期病院

飯塚病院 医療福祉室

ソーシャルワーカー

主任 浦川 雅広 氏

② 回復期病院

医療法人柳育会八女

リハビリテーション病院

リハビリテーション部

部長 福田 裕樹 氏

③ 地域包括ケア病棟

医療法人社団水光会宗像水光会
総合病院

リハビリテーション部

部長 大田 登志樹 氏

④ 療養病院

医療法人社団親和会共立病院

総看護師長 長嶺 眞智子 氏

⑤ ケアマネの立場から

福岡県介護支援専門員協会
会長 柴口 里則 氏

⑥ 在宅医の立場から

在宅療養診療所コールメディカル
クリニック福岡
院長 岩野 歩 氏

ディスカッション

※ 受講者数 313 名
受講料収入 878,500 円

【開催予定】

ア 第 1 回 病院委員会（安藤担当理事）

日 時 平成 27 年 11 月 10 日（火）
16：00～

場 所 福岡県医師会館 6 階 研修室 4
協議事項

- 1 平成 27 年度病院研修会の研修計画について
- 2 その他

イ 第 145 回 看護研修会

（前回寺坂担当理事から報告済み）

日 時 平成 27 年 12 月 18 日（金）
9：50～

場 所 ナースプラザ福岡「研修ホール」
テーマ 「認知症を持つ人の理解とケア」

I 「せん妄ケアに苦しむ大学病院で
ユマニチュードを導入して」

東京医科歯科大学医学部附属病院
副看護部長 平野 博美 氏

II 「急性期病院で治療を受ける認知
症高齢者の看護」～入院から
地域連携まで～

福岡大学病院
認知症認定看護師 岩本 知恵美 氏

III 「治療を行う上での認知症ケア～
患者と組織の双方に配慮する必
要性～」

東京都健康長寿医療センター
研究所 研究員 伊藤 美緒 氏

III 法人事務等関係

1 報告事項

(1) 各種委員会関係他

【開催結果】

ア 第 7 回 ほすびたる編集委員会
（岡嶋編集委員長）

日 時 平成 27 年 10 月 27 日（火）
15：45～

場 所 （公財）福岡県すこやか健康事業団
学術研究センター（聖マリア健
康科学研究所福岡分室）会議室
協議事項

- ① 11 月号の現況について
- ② 12 月号、1 月号の編集計画
- ③ その他
・「ほすびたるの第三者利用につ
いて」五役会での再検討を要請
された。

(2) 第 26 回理事会の議事録について
（上野専務理事）

(3) 収入・支出内訳表（平成 27 年度 4、5、
6 月分）について（平財務理事）

・当日配布資料に基づき報告された。7、
8、9 月分は、来月報告予定。

(4) 会員名簿（平成 27 年 9 月 1 日現在）の作
成について（上野専務理事）

・会員には 10 月 20 日頃送付済み。記
載事項の変更及び修正漏れについ
ては、「ほすびたる 1 月号」に訂正表を
掲載する予定。

(5) 「福岡県医師会第 2 回地域医療構想策定プ
ロジェクト委員会」について
（上野専務理事）

・平成 27 年 10 月 29 日（木）14:00 から、
県医師会館 6 階研修室にて開催予定。
・回答期限（10 月 26 日）もあり、会長
了解のうえ第 1 回プロジェクト委員
会（7 月 30 日開催）に出席された竹
中副会長に今回も出席して頂くこと
で県医師会に回答済み。

2 協議事項

(1) 「地域医療構想策定」に係る対応等について
（上野専務理事）

① 「福岡県地域医療構想全体説明会」
（10/13、産業医科大学にて開催）に
ついて

・出席者を代表されて、竹中副会長
から概要の報告があった。

② 「平成 27 年度第 1 回福岡県地域医療
構想策定会議」（10/19、県庁会議室
にて開催）について

・策定会議委員である竹中副会長

から、資料（「会議次第」及び「2025年必要病床数の推計値について」）を配布され、福岡県の考え方等について説明された。

③「第3回地域医療構想合同研究会」（本理事会終了後開催予定）について

- ・理事会終了後、当会議室で開催予定であり、竹中副会長、上野専務、平理事、島理事、中山理事、吉村理事、津留理事が出席されることが報告された。

(2)「平成27年度 参与・各種委員会正副委員長・役員懇談会」について（上野専務理事）

- ・12月8日（火）開催予定。会場は昨年同様「ホテルセントラーザ博多」を予約済み。
- ・各担当理事に対して報告資料の事前提出を重ねて依頼された。（提出期限11月20日）

(3) 病院協会ホームページについて

（上野専務理事）

- ・前回理事会終了後に業者から提案されて内容について五役会で検討。
- ・当協会の主要行事である「県民公開医療シンポジウム」の掲載について業者に要請、調整中。

3 その他【開催予定】（上野専務理事）

(1) 平成27年10月

ア 第3回地域医療構想合同研究会

日時 平成27年10月27日（火）

17:00～

場所 （公財）福岡県すこやか健康事業団 学術研究センター（聖マリア健康科学研究所福岡分室）会議室

(2) 平成27年11月

ア ほすびたる編集委員会・理事会

日時 平成27年11月24日（火）

① 15:45～ ほすびたる編集委員会

② 16:00～ 理事会

場所 福岡県医師会館 6階 研修室3

(3) 平成27年12月

ア ほすびたる編集委員会・理事会

日時 平成27年12月8日（火）

① 15:45～ ほすびたる編集委員会

② 16:00～ 理事会

場所 ホテルセントラーザ博多

イ 参与・各種委員会正副委員長・役員懇談会及び懇親会

日時 平成27年12月8日（火）

17:00～

※ 懇親会 18:20～

場所 ホテルセントラーザ博多

(4) 平成28年1月

ア 第21回 四県病院協会連絡協議会

日時 平成28年1月22日（金）

15:00～

場所 岡山県

イ ほすびたる編集委員会・理事会

日時 平成28年1月26日（火）

① 15:45～ ほすびたる編集委員会

② 16:00～ 理事会

場所 未定

4 最近の医療情勢について

① 津田企画理事から「研修医入会促進について」（福岡県医師会会長名文書）を配布され、概要説明と協力要請があった。

② 岡留理事から、資料「医療安全管理者養成講習会アドバンストコース開催のご案内」を配布され、各病院からの参加を要請された。

福岡会場：平成28年2月13日（土）「TKP ガーデンシティ天神」にて開催予定。

日本病院会主催、定員100名、参加料29,000円（税別、会員施設）

③ 上野専務理事から10月1日に施行された「医療事故調査制度」に関して、厚生労働省から第三者機関に指定された（一社）日本医療安全調査機構の定款や役員名簿等を示されるとともに関係者向け研修（案）の概要について配布資料を下に説明された。

また、岡留理事から最初の窓口に関し、4病院団体の協議の状況について補足説明された。

④ 岡留理事から、島理事に診療報酬実務者会議のメンバーに就任頂いた旨の報告があり、島理事からは診療報酬改定の検討状況の一端を紹介された。

「ほすぴたる」11月号をお届けします。

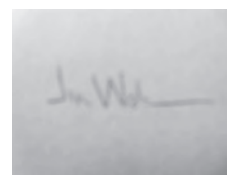
今月号も皆様よりたくさんの素晴らしい原稿をいただき、豊穡の秋にふさわしい、豊かな内容の11月号を発刊することができました。原稿をお寄せいただきました皆様に心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、本号で特筆すべきは、編集委員長である私が、最初と最後のページに出させていただいていることです。新人物（実際は旧人物ですが）と編集後記の項に出演しております。このような現象はめったに見られるものではありません。数年、いや数十年に1回という珍しい巡り合わせでしょうか。でも、「だから、どうなの?」と問われれば、別にさしたる意味もないのではありますが……。私の“ほすぴたる”だけ表紙の裏にサインをして、著者サイン本として大事に保存すべくひとり悦に入っております。

著者サイン本と言えば、私はちょっと自慢できる貴重な書物を持っています。皆様ご存知のように、DNAの二重らせん構造は、ワトソン、クリック博士らにより提唱され、両博士は1962年のノーベル生理学・医学賞を受賞しました。まさに世紀の大発見であり、その後の遺伝学の発展に多大な貢献を与えました。私は、このワトソン博士の著書「Molecular Biology of the Gene, 3rd ed. W.A. Benjamin, Inc. 1976」を持っているのですが、この書物の表紙を開くと右下に著者ワトソン博士の自筆のサインが書かれています（写真）。鉛筆書きでしょうか、もともと

小さいものでしたがだんだんと薄れていくようにも思えます。

実はこの本は、30年ほど前、私が国立小倉病院で



主治医として担当していました高齢のアメリカ人女性Mさんのお嬢さんからいただいたものです。このお嬢さんは日本人男性と結婚し来日されたのですが、お母様と一緒に来られたのです。お嬢さんは生物学専攻で、大学院時代にワトソン教授のゼミを取り、その時使ったテキストブックに教授のサインをもらったそうです。「ずっと大事にしていたけれど、自分にはもう必要ないので差し上げます。」と言われ、いただくことになりました。お母さんはとても穏やかで品格のあるご婦人で、米国には存在しないであろう、あの古く狭い国立病院に、なんの不平も言わず、通院、入院してくださいました。この本を見るたびに当時のお二人が思い起こされ、私の貴重な宝物となりました。

私の長女が小学校低学年のころ、この本とサインを見せたことがあります。まだまだ正直であった彼女は、「これなに? 小さすぎて見えん。ワハハハハ」。

さて、私のお宝をご披露してしまった以上、今夜からはもっと戸締りに気をつけて眠ることにします。この本をまくらにして。

（岡嶋泰一郎 記）

ほすぴたる

第694号

平成27年11月20日発行

発行 ◎ (公社)福岡県病院協会

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号
福岡県メディカルセンタービル 2F
TEL092-436-2312 / FAX092-436-2313
E-mail: fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp

編集 発行人 ◎ (公社)福岡県病院協会

制作 ◎ (株)梓書院

〒812-0044 福岡市博多区千代3-2-1
麻生ハウス 3F
TEL092-643-7075 / FAX092-643-7095
E-mail: mail@azusashoin.com

編集主幹…石橋 達朗

編集委員長…岡嶋泰一郎

編集副委員長…竹中 賢治

編集委員…上野 道雄・安藤 文英

平 祐二・津田 泰夫

草場 公宏・塚崎 恵子

会社・医療・介護事業所を幅広く支援する 社労士ネット+（県内全域約 20 名の社労士等）

奥 経営労務事務所

代表： 特定社会保険労務士 奥 省三

本部： 〒815-0072 福岡市南区多賀 1-17-30-406 TEL (092)541-8710 FAX (092)541-8725
e-mail : oku023@nifty.com 携帯： 090-2857-4081

- ◎ セミナー・講習会の開催 & 顧客事業所の各種社労士業務サポート
- ◎ 事業所にあったマイナンバーへの対応をサポート！

対策は進んでいますか！ 本年 12 月 1 日よりストレスチェック制度施行！

（従業員 50 名事業所年 1 回以上実施が義務化、いずれ全事業所も対象の見込み）
制度導入にあたり、適切な支援体制に基づき事業所さまのスムーズな実施を！
また、県内健康診断実施機関とも連携し、幅広く…… サポート致します！

【関連法人・団体等】

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ■ 各種事業所ベネフィットを支援する | ベネフィットパートナーズ |
| ■ 社労士を中心とした専門家の任意団体 | 社労士ネット ^{プラス} + |
| ■ ストレスチェック推進任意団体 | 一般社団法人 ウェルフル |
| ■ 選択制 401k、長期障害補償制度など | (株)オールニュートラル |
| ■ 介護事業及びその労務管理支援 | パナホーム不動産株式会社ほか |

第145回 看護研修会のご案内

テーマ 「認知症を持つ人の理解とケア」

開催日 平成27年12月18日（金） 9：20～15：00

場所 ナースプラザ福岡「研修ホール」
福岡市東区馬出4丁目10番1号

参加料 会員 病院 1人につき 3,500円
会員外病院 1人につき 5,000円

I 「せん妄ケアに苦しむ大学病院でユマニチュードを導入して」
東京医科歯科大学医学部附属病院 副看護部長 平野 博美

II 「急性期病院で治療を受ける認知症高齢者の看護 ～入院から地域連携まで～」
福岡大学病院 認知症認定看護師 岩本 知恵美

III 「治療を行う上での認知症ケア ～患者と組織の双方に配慮する必要性～」
東京都健康長寿医療センター研究所 研究員 伊東 美緒

* お問い合わせは福岡県病院協会事務局（電話 092-436-2312）までお願いいたします。